



Journal

第22号
2026(R8)年10月22日
山形県立寒河江高等学校
新聞部

古くも新しい寒河江高校

チーム寒高で進む改修工事

寒河江高校の校舎は、年々少しずつ新しく変化している。この記事では、今年度実施された改修工事を中心に校舎がどのように変わり、私たちが快適に過ごせるようになっていくのかを紹介し、校舎の維持に対する私たちの思いや期待を届ける。

今年で現在の寒高の校舎が建てられてから55年目を迎える。一般的に古めの建物とされる寒高校舎だが、様々な部分に改修工事が施され、より使いやすく綺麗な校舎へと変わりつつある。こうした新しくな

今後の工事の予定について事務部長の佐藤大輔さんに話を伺った。

すでに完了した工事もいくつかありますが、現在行われているのは生徒昇降口左手にある芝生部分を通行できる道を作る工事です。この道には街灯も設置され、夜間でも安心して通行できるようにします。また、長陵会館の老朽化した外壁の補修工事も行われ、10月

今までの改修工事と

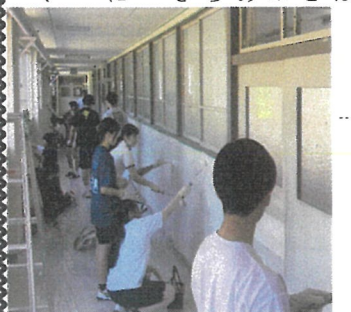
22日より通行が可能

直近の校舎工事一覧

完了した工事
ウォーターサーバーの設置
非常階段の整備
一年生教室扉のスチール化
現在進行中の工事(完了予定日)
校舎西側通路の敷設(10/22)
長陵会館外壁の劣化補修(10/22)
トイレの洋式化(今年度1月中旬)
予算が決まり次第行われる予定の工事
講堂への廊下の補修

になる予定で、長陵会館の補修工事も同日に完了する予定です。他には学校のトイレが工事されていることはご存じだと思います。この工事は生徒のみなさんからの要望を取り入れ、和式便器から洋式便器へ移行する工事です。この工事は夏休み前から進められていて学習センター棟トイ

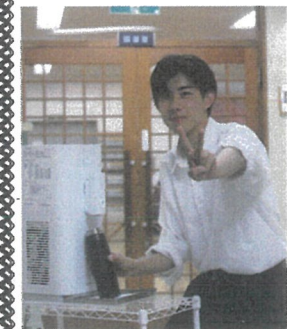
イレ以外のトイレはすでに工事が完了して、約8割が終わっています。学習センター棟のトイレ工事は一月中旬完了予定です。



壁塗りボランティアを行う生徒

すでに完了した工事と言えば一年生教室の扉が木製からスチール製の扉に変わりました。また、昨年のうちに安全面の観点から非常階段の改修工事が行われました。夏休み期間中にトイレの洋式化工事の現場監督を務めた亀

A まずは安全性を第一に緊急性のあるものから決めていきます。Q 最後に生徒に一言お願いします。



ウォーターサーバーを使用する生徒会長

た校舎には、これまでの通ってきた先輩方の思い出や日々の歩みが詰まっている。時代に合わせて使いやすく変化していく一方で、変わらない伝統や校舎への愛着を受けついで行くことも大切だ。限られた条件の中で安全性や使いやすさを第一に考え、環境を整えてくださる方々が存在する。そうした努力や配慮に想いを馳せ、目に見える変化だけでなく日々の関わり方で目を向けていきたい。大規模な改修工事だけでなく、日頃

今回の工事は我々生徒の意見を実現したものである。関わってくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、新しくなった設備を綺麗に使い、保つていきたい。また業者だけでなく生徒の手でも8月5日に一階会議室前廊下で壁塗りボランティアが生徒会を中心に有志で行われた。現在の校舎は決して新しいとは言えないが、長年大切に扱われてきたという歴史がある。55年という歴史を重ねてき

図書館前で脱プラ&水分補

知っていましたか？

季節は、空気が乾燥し、体調を崩しやすい。ため、こまめにしっかりと水分を補給し健康に過ごせるよう心がけてみてはどうか。マイボトルを日常的に使うという一人ひとりが、学校全体の環境配慮やSDG'sへの貢献につながる。日々の生活習慣を見直す良い機会としてぜひ積極的に活用してほしい。

心よりお詫び申し上げます。

第20号のコラムにて、削除しなければならぬ「デジタル進路資料室クラスコード」という文字列が削除されておりませんでした。

お詫び

私たちがこの校舎を旅立つとき、自分たちの校舎や設備を大切に扱い、誇りを持てる場所を残せたと思えるようにしたい。